



主要プロジェクトの状況

①東九州自動車道

●着々と進む東九州自動車道

県北では、「築上(福岡県)～宇佐間」の約28kmにおいて、西日本高速道路(株)が事業を実施しており、平成28年度の供用予定を26年度に前倒しする目標が示されています。

県南では、「佐伯～北川(宮崎県)間」の約46kmにおいて、国土交通省が事業を実施しています。このうち、「蒲江～北浦(宮崎県)間」の約14kmについては、24年2月に供用が開始されました。また、「佐伯～蒲江間」の約20kmについては、27年度供用予定とされていますが、県北に合わせ、26年度に前倒して供用するよう、国土交通省等関係機関へ要望しているところです。



【築上～宇佐間: 中津市西秣付近】



【佐伯～蒲江間: 佐伯市上岡付近】

②中九州横断道路

●着々と進む中九州横断道路

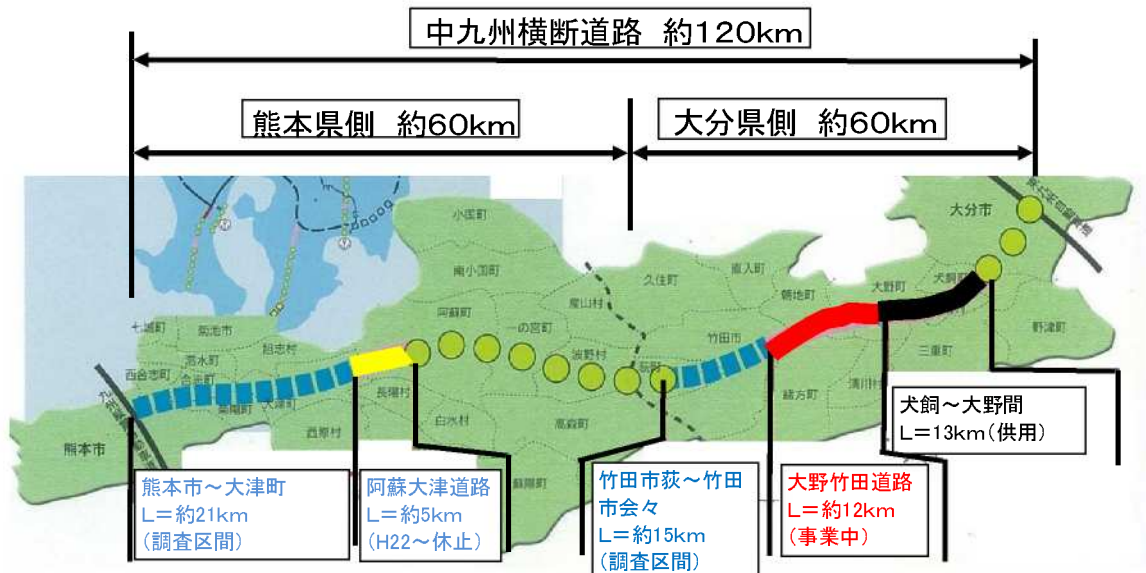
20年3月までに「犬飼～大野間」13kmが供用され、引き続き「大野～竹田間」の事業が国土交通省により進められており、現在、用地取得や工事が着々とおこなわれています。このうち、大野～朝地間については26年度に供用する目標が示されています。



【犬飼千歳道路: 豊後大野市千歳町新殿付近】



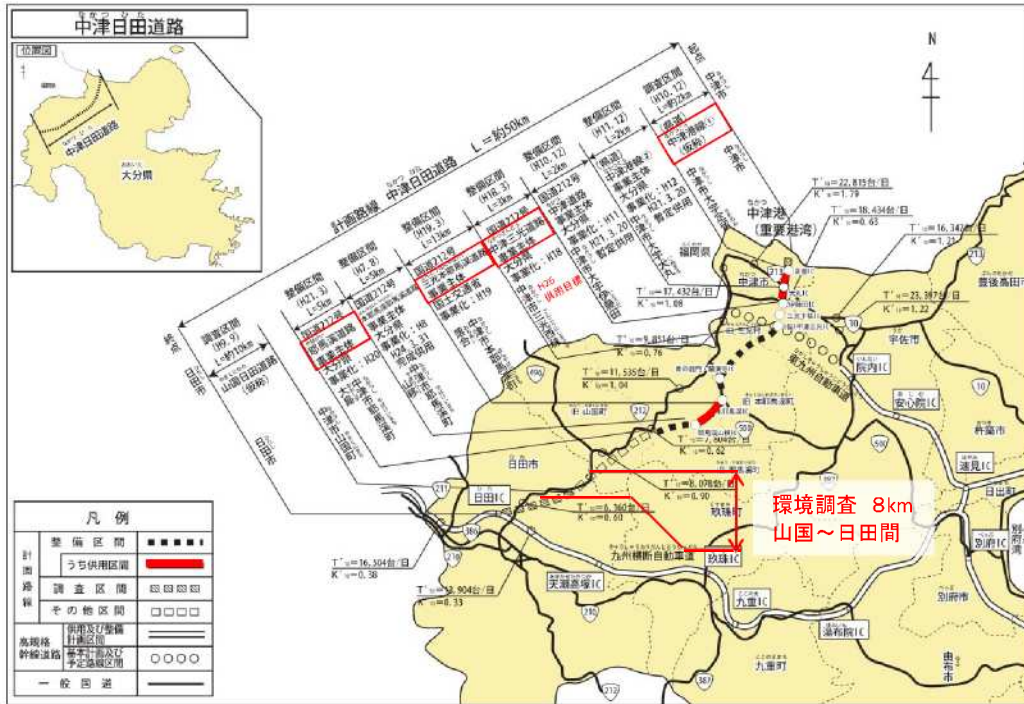
【大野竹田道路: 豊後大野市朝地町市万田付近】



③中津日田道路

中津日田道路は、中津市と日田市を連絡する延長約50kmの路線であり、国土交通省及び県により約28kmの区間(中津港線①、中津三光道路、三光本耶馬溪道路、耶馬溪道路)の整備を推進しています。

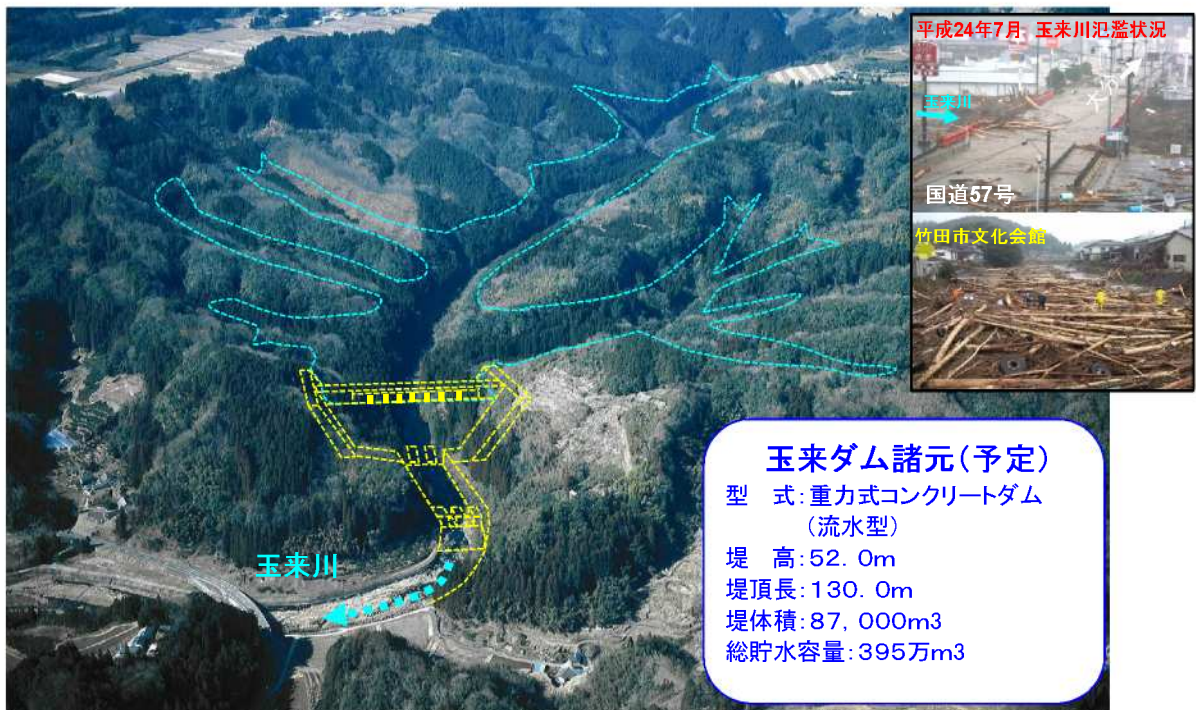
中津三光道路は、平成26年度の供用を目指して用地買収・トンネル工事を推進しています。また調査区間である山国～日田間について環境調査に着手しました。



④玉来ダム(竹田水害緊急治水ダム)

玉来ダムは一級河川大野川水系玉来川に建設するもので、洪水調節を目的としています。

平成2年7月の豊肥大水害を契機に、稲葉ダムとともに「竹田水害緊急治水ダム建設事業」として平成3年度に事業採択されました。平成22年9月に国からの要請を受け、「検証作業」を実施し、平成23年10月に「ダム事業継続」の国の対応方針が示されました。事業継続が決まった矢先の平成24年7月には九州北部豪雨により甚大な被害に見舞われたことから、一日も早い完成が望まれております。現在、早期の用地買収に向け、用地調査やダム本体の実施設計を並行して行うなど準備作業を進めています。



⑤大分駅周辺総合整備

大分駅部を含む日豊本線、久大本線及び豊肥本線を高架化し、踏切の除却を行い、交差道路の整備を図るとともに、関連事業と合わせて住民参画のもと、魅力のある”まちづくり”を実現します。

平成24年3月17日のJR日豊本線の高架開業により、平成24年度は、駅舎や地上線路、関連する10箇所の踏切の遮断を解消しました。

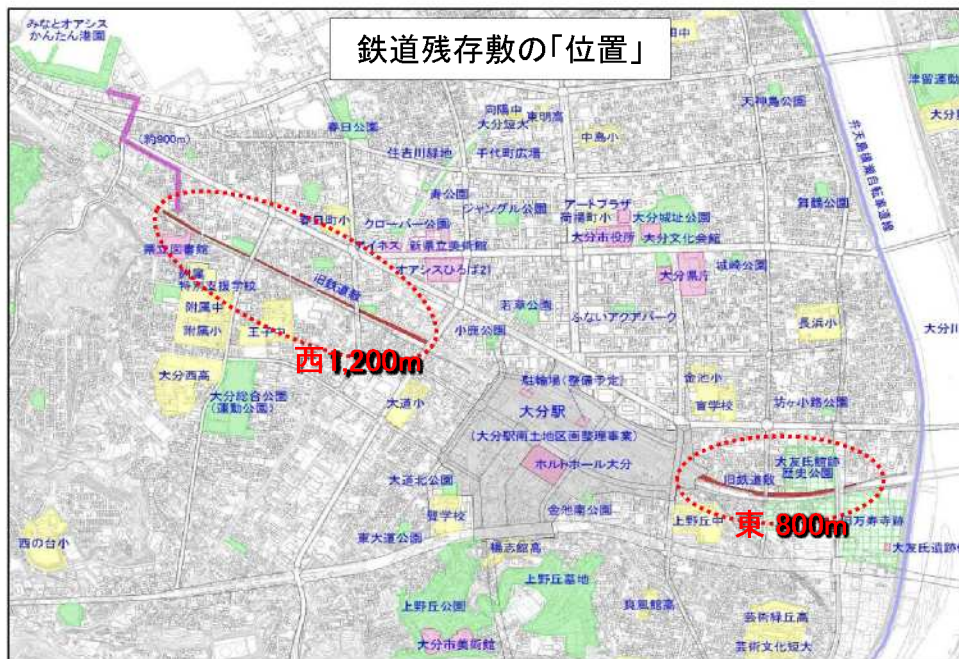
【大分駅周辺の整備状況】H24.9



【国道210号(踏切撤去後)】H24.9



大分駅周辺の鉄道高架化により生じた、線路跡地の利活用策について、有識者や関係機関、地元代表などで構成される鉄道残存敷利活用検討協議会と、地域の住民をはじめ、商業・福祉関係者、子育て世代、学生など多様な立場、幅広い世代による作業部会を設置し、検討を進めています。



【鉄道残存敷の様子】H24.9



【ワークショップの様子】H24.10



⑥大分中央幹線道路((都)庄の原佐野線)

大分中央幹線道路(都市計画道路・庄の原佐野線)は、大分自動車道大分ICと都市計画道路 下郡中判田線(大分市大字下郡)を結ぶ延長6.0kmの地域高規格道路で、平成6年に計画路線に指定されました。

大分市内の東西骨格軸となる道路であり、東九州自動車道等と一体的に機能し、地域間連携を促進するとともに、都市内交通の改善を図ることを目的としています。

平成20年9月には、国道210号から国道10号を結ぶ約2.2kmの区間が供用開始されており、現在は大分川を渡河する1.2km間(元町・下郡工区)の事業を推進しています。

